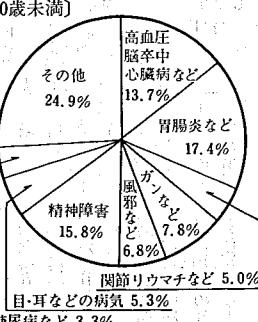
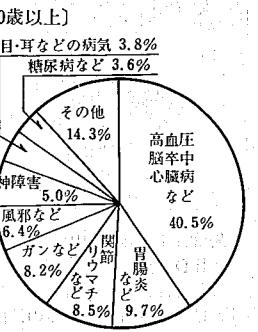


# 一貫した保健サービスに

前のページでは、医療の面を中心にご紹介しましたが、壮年期以降の病気の予防からリハビリーションまでの一貫した保健サービスも、この制度の特色の一つです。

お年寄りの病気には、高血圧、脳卒中、心臓病など慢性的なものが多く、治りにくい人一人が自分の責任で行うことが大切ですが、それと併せて制度的にも適切な保健サービスを受けられるようにする

## 病気の件数割合(入院)



## 健康づくりのために 医療と各種保健事業

### 1 「健康手帳の交付」 (40歳以上の希望者)



70歳以上の人及び65歳以上70歳未満のねたきり等、障害老人に交付される健康手帳は医療の受給資格を証明するものであります。

### 2 「健康教育」



こうした健康づくりは、一

### 4 「健康診査」 (循環器、がん)



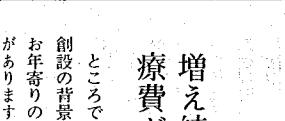
人一人が自分の責任で行うこ

### 6 「機能訓練」



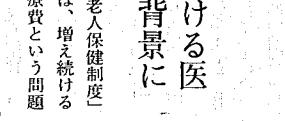
とが大切ですが、それと併せ

### 7 「訪問指導」



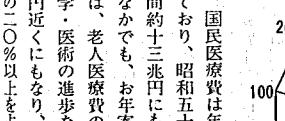
て制度的にも適切な保健サー

### 3 「健康相談」



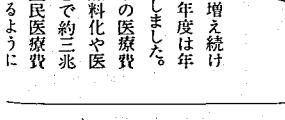
ビスを受けられるようにする

### 5 「医療」



健康管理が大切です。

### 8 「訪問指導」



このため、四十歳以上の加

### 9 「お年寄りの医療費などの推移」



入者を対象として、健康相談

することが必要です。

このため、四十歳以上の加

入者を対象として、健康相談